

<対策のポイント>

漁業・養殖業の生産性の向上のためのデータ収集・利活用、人材育成、機械導入・普及活動支援、省人省力化技術開発を進めます。また、水産流通適正化制度の円滑な実施等を推進するため、漁協等が行う流通管理・伝達の電子化・効率化等への支援に取り組みます。

<事業目標>

- 新たな資源管理の推進による漁獲量の回復（漁獲量444万t〔令和12年度まで〕）
- 太平洋クロマグロの電子的かつ効率的な流通管理・伝達体制の整備（14都道府県〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

1. スマート水産業普及推進事業

地域におけるスマート化の取組をリードする伴走者を育成支援するとともに、伴走者のサポートの下で生産者がスマート機械を導入・利用する取組、都道府県におけるスマート化に向けた普及活動の取組への支援を行い、その成果や知見を全国に伝播していくことで、スマート水産業の普及を推進します。

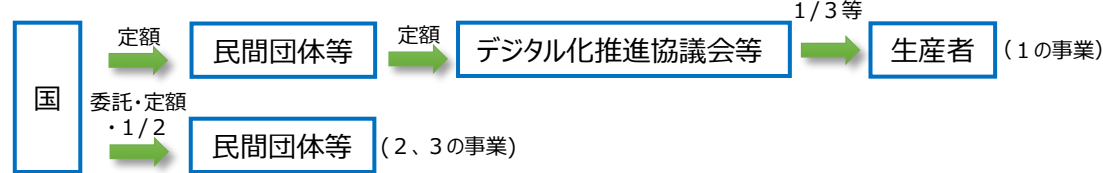
2. まき網漁業の自動操業に向けたAI技術の開発

漁業就業者の減少や高齢化を見据えて、適切な漁船の進入方向や船速、投網タイミングなどを計算し、漁業の自動操業に結びつく技術をAIを活用して開発します。

3. 特別管理特定水産資源等の漁獲・流通に係る効率化等推進対策

太平洋クロマグロの漁協等が行う地域における流通管理・伝達の電子化・効率化に向けた取組等を支援します。また、消費者の信頼を確保し、ウナギ産業のサプライチェーンの最適化を図るためのシステム改修に必要な経費を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

スマート水産業の推進

水産業の成長産業化
に向けた取組

<目的> 漁業・養殖業の生産性向上
勘と経験に基づく漁業からの脱却、スマート水産
技術の生産現場への展開、データの利活用

水産資源の持続的利用
のための取組

<目的> 資源評価・管理の高度化
資源評価の精度向上、適切な数量管理の実現、
資源管理の徹底

スマート水産業推進事業

スマート化のための人材育成・機械導入等の支援、省人省力化技術開発、
漁獲報告等の確認手法の確立、流通管理・伝達の電子化・効率化等を実施します。

1. スマート水産業普及推進事業

生産現場でのスマート化の取組を全国に伝播する
ことで、水産業の成長産業化を推進

2. まき網漁業の自動操業に向けたAI技術の開発

漁業の自動操業に結びつく技術を開発することで、
水産業の成長産業化を推進

3. 特別管理特定水産資源等の漁獲・流通に係る
効率化等推進対策

- ・太平洋クロマグロの資源管理の強化の推進
- ・うなぎ流通の一元的管理体制を構築

[お問い合わせ先]

- (1、2の事業) 水産庁研究指導課 (03-6744-0205)
- (3の事業) 加工流通課 (03-6744-2519)
- (3の事業) 栽培養殖課 (03-3502-8489)